

式 辞

春爛漫を感じさせる今日のこの佳き日に、PTA会長、石井格様をはじめ、PTAの役員の皆様をご来賓にお迎えし、保護者の皆様とともに、平成26年度岐阜県立不破高等学校入学式を挙行できますことは、この上ない喜びです。ご参列いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。ただ今入学を許可した99名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。在校生・教職員を代表して心から歓迎します。

また、保護者の皆様には、お子様が、入学式という晴れの舞台を迎えられ、感慨もひとしおのこととお察します。心からお祝いを申し上げます。

本校は、昭和25年に開校、本年度で創立65年目を迎え、今まですでに1万1千人を超える卒業生を輩出した、歴史と伝統ある学校です。平成17年度からは単位制を取り入れ、自分の進路にあわせたカリキュラムを自ら選択して学ぶことができる学校として生まれ変わりました。そして、さらに昨年度からは、将来の進路に合わせ、より良い科目選択ができるよう、5つの類型によるカリキュラムを取り入れています。

さて、新入生の皆さん、今、どのような思いを抱いていますか。皆さんには、9年間の義務教育を終え、自ら進んで本校を選び、本校に入学したということを忘れないでほしいと思います。ここに至った経過は様々であろうかと思いますが、是非、自分の選択に自信と誇りを持ち、自らの道を自らの手で切り拓いて下さい。

そこで本校で学ぶ皆さんに、心がけてほしいことを3つ話します。

一つ目は、高校生活の中で、「何かに精いっぱいに取り組む」ことです。

皆さんは、何かに精いっぱい打ち込んだことはありますか。勉強、部活動、生徒会活動、ボランティア活動など、いろいろなことに取り組んだ人もいることでしょう。こうして何かに取り組んだ人も、今まではそうでなかった人も、これからの高校生活では何かに精いっぱい取り組んでもらいたいと思います。そのためには、まず、様々なことに挑戦し、自ら興味が持てるものを探し出すことです。高校で何かに取り組んで、達成感を味わい、新

たな自分を発見してください。こうした経験は、将来の財産になるはずです。

二つ目は、「謙虚である」ことです。

人は地域、学校、家族など、人とのつながりの中で生きています。今の社会の中で、一人で暮らしていくことは不可能です。そうした社会で暮らしていくためには、何が大切でしょうか。それは、周りにいる人の意見を聞き、尊重することです。最近、若者たちのコミュニケーション能力の不足が話題にされることがありますが、コミュニケーションの第一歩は、まさにこのことです。皆さんが、常に仲間を意識して学校生活を送り、偏見やいじめのない学校で、気持ちよく毎日を送ることを願ってやみません。

三つ目は、「基本的な生活習慣の確立と規律ある学校生活を送る」ことです。

いずれ皆さんは、社会に巣立っていきます。その社会で大切なことは、当たり前のことが当たり前に行えることです。これがなければ、仲間、職場、そして社会からの信用は得られません。大きな社会に出る前の高校という小さな社会での3年間で、社会人として素養を身につけるため、基本的な生活習慣を確立し、規律ある学校生活を送ってほしいと願います。

本校の校訓は、「あかるく、さとく、たくましく」です。すなわち、いつも前向きに明るく、向上心を持って何ごとにも取り組み、最後までやり抜く。これを胸に刻み、皆さんが、これからの高校生活の中で、さらに成長を遂げ、希望の実現に向かって進まれることを期待して式辞といたします。

平成26年4月8日

岐阜県立不破高等学校長

堀 貴 雄